



2018 写真1年 STUDY TOUR

ART ISLANDS

波の穏やかな内海にきらめく太陽。

UP! SPECIAL HAPPY is FAMILY vol.54

UP! SPECIAL HAPPY is FAMILY

岡山・宇野港でフェリーを待っていると、ガイドブックを手にしたドイツ人夫婦に出会った。「直島に行くのが夢だったの。」お隣の外国人はフランスから来たという。世界中からアート好きが訪れる直島。写真学科1年生たちは胸を膨らませてフェリーに乗船。およそ20分の航海だが天気がよくてデッキは11月なのに夏の暖かさ。海風が気持ちいい。豊かな自然の中で、個々にしかない作品と出逢う旅がスタート。学生たちはそれぞれに自転車レンタルして島の坂道を上る。青い海と島の緑の中間を風を切るように走る。港につくと草間弥生の代表的なモチーフフ南京をかたどった作品、赤かぼちゃが迎えてくれる。内部にも入れる。その先には藤本壮介が設計した直島バウリオンが浮かんでいる。独特の浮遊感が楽しめる。町営のバスのデザイン

ンがかわいい。草間のかぼちゃがデザインされて旅人を優しく包んでくれる。風を感じるなら直島ホール。総檜葺きの入母屋屋根が印象的で少し休憩するには最高の場所である。自転車を走らせて地中美術館に到着。モネが愛した睡蓮の池を見ながら美術館に入るのだ。なんといっても直島アートのハイライト「モネの睡蓮」である。安藤忠雄のコンクリートの梁で切りとられた建築も素晴らしいが中の展示作品にも圧倒される。家プロジェクトを堪能して自由時間の3時間はあつという間に過ぎた。海岸では海水に足をつける学生、その仲間を撮る学生。彼らの友情もまた一段と深まったスタディツアーでした。彼らはその後、朝まで語り合ったことだろう。翌日は高松に本物の「うどん」を食べにいった。この味も彼らの胃袋はいつまでも覚えていくことだろう。(は)

